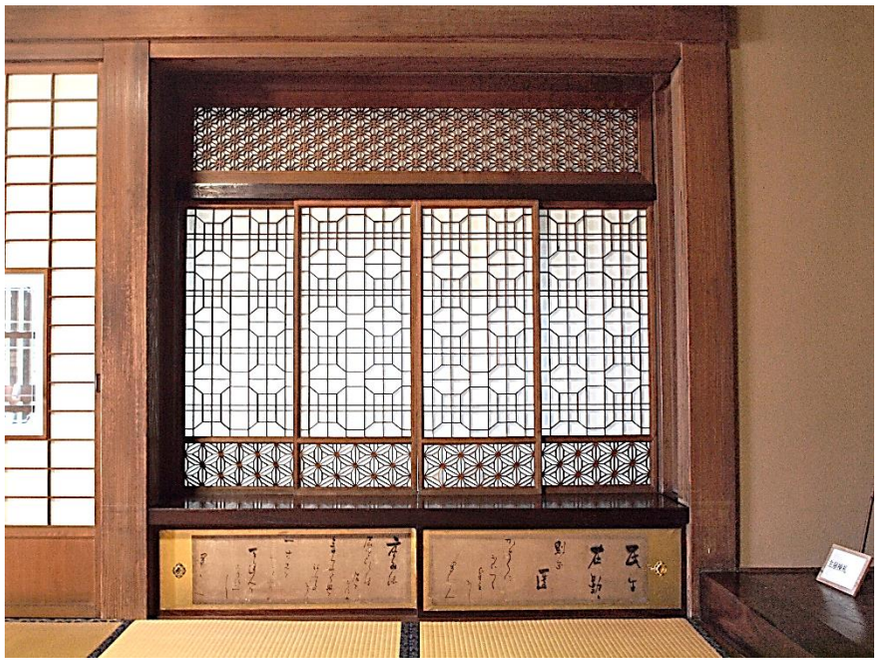
■違い棚

2 つの板を上下に分けて取り付けた棚。上と下で置くものが決められていて、板を分けることで光が全体に当たるように工夫されている。



■付書院

床の間わきの縁側沿いに備え付けられた座敷飾りのための場所である。付け書院は床の間の外部に張り出して設けることを基本とするが、外部に張り出さず壁面内に納めた形式もあり、平書院という。

■欄間

装飾的な効果がある。建物の採光側に用い、内部での採光通風を確保しつつ、視界を制限する効果がある。様々な図柄を彫り込んだもの。欄間の原型は平安時代にはすでにあったとされるが、本格的に用いられるようになったのは、鎌倉時代以降とされる。